

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第23週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (23週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	肺結核	体動困難
			80歳代	女	肺結核	咳、発熱、呼吸困難
			80歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		小林	90歳代	女	肺結核及び結核性胸膜炎	食欲不振
3類	腸管出血性大腸菌感染症	高鍋	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O146(VT2)
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	延岡	0~4歳	男	—	発熱、肺炎
	梅毒	延岡	40歳代	男	早期顕症梅毒I期	鼠径部リンパ節腫脹

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・ 定点医療機関からの報告総数は 1,598 人(定点当たり 38.3)で、前週比 116%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 240 人(4.1)で、前週比 137%と増加した。日向(9.7)、都城(4.7)、高鍋(4.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

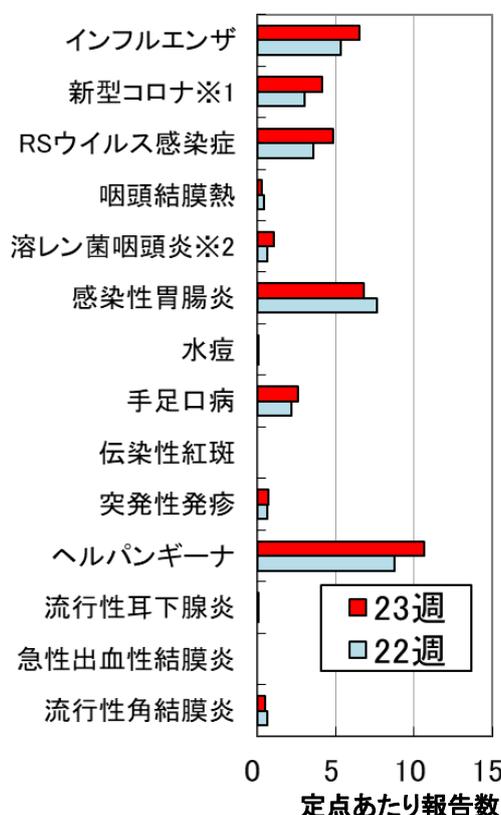
【インフルエンザ】

報告数は 379 人(6.5)で、前週比 123%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.09)の約 69.5 倍であった。都城(18.5)、日南(10.6)、小林(9.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 5 歳から 9 歳が全体の約 4 割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は 384 人(10.7)で、前週比 122%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.62)の約 17.3 倍であった。中央(20.0)、小林(19.3)、都城(13.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 4 歳が全体の約 8 割を占めた。

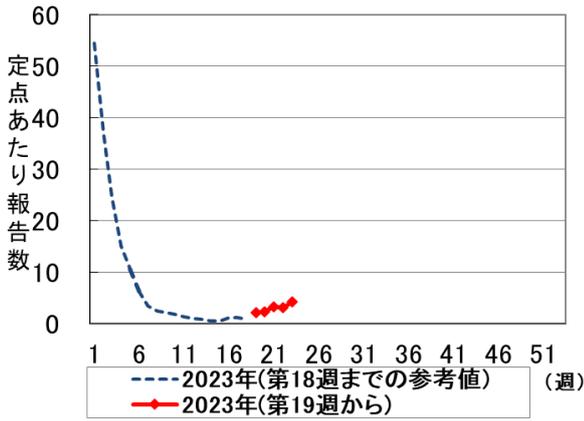
《前週との比較》



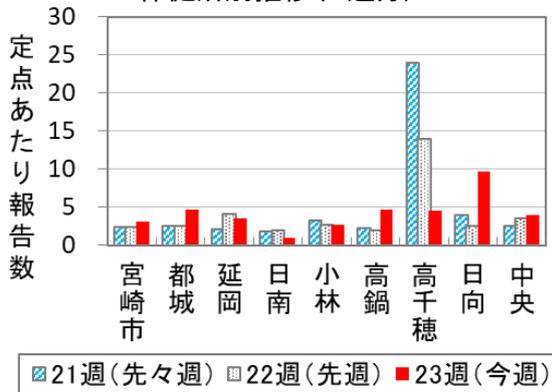
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

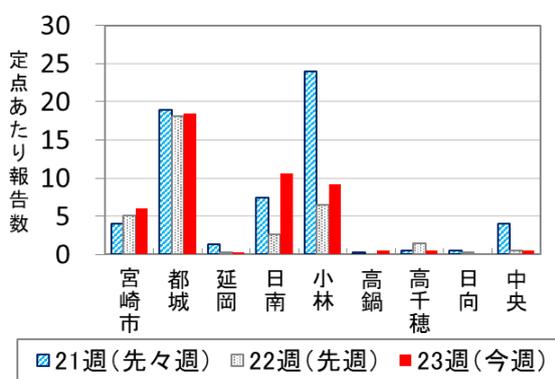
新型コロナウイルス感染症 発生状況



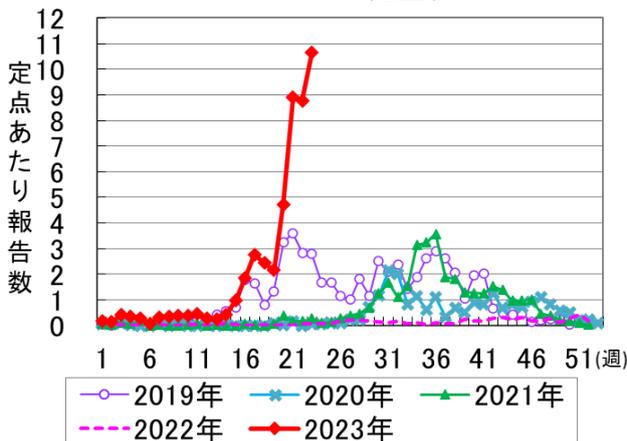
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



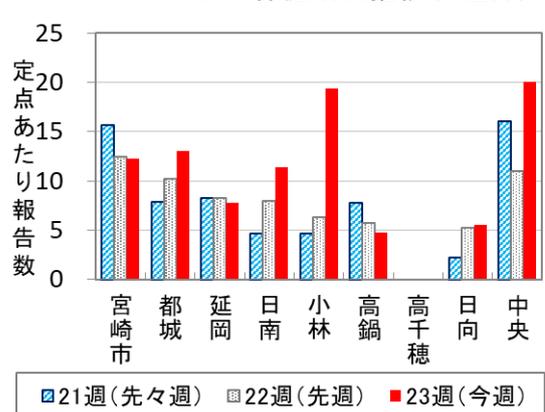
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



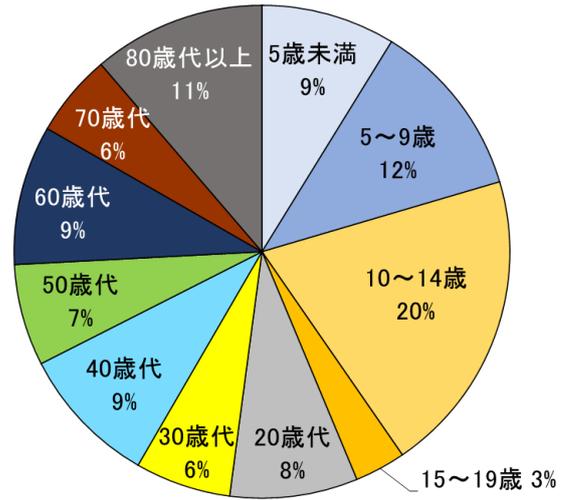
ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)

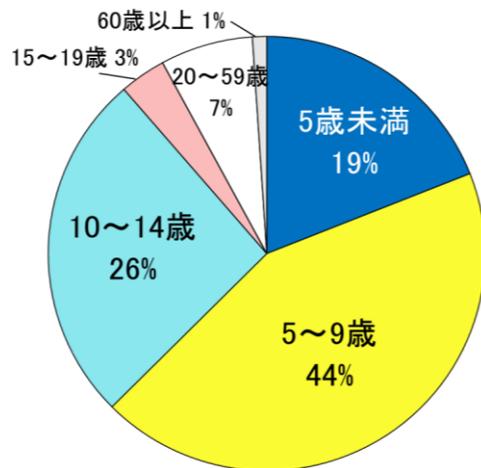


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第23週)



※新型コロナウイルス感染症の第1週~第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

インフルエンザ年齢群別グラフ(第23週)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	ヘルパンギーナ(12.2)
都城	インフルエンザ(18.5)、ヘルパンギーナ(13.0)
延岡	ヘルパンギーナ(7.8)
日南	インフルエンザ(10.6)、手足口病(5.7)、ヘルパンギーナ(11.3)
小林	ヘルパンギーナ(19.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(7.5)
中央	水痘(2.0)、ヘルパンギーナ(20.0)

流行警報レベル開始基準値

- ・水痘(2)
- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

流行注意報レベル基準値

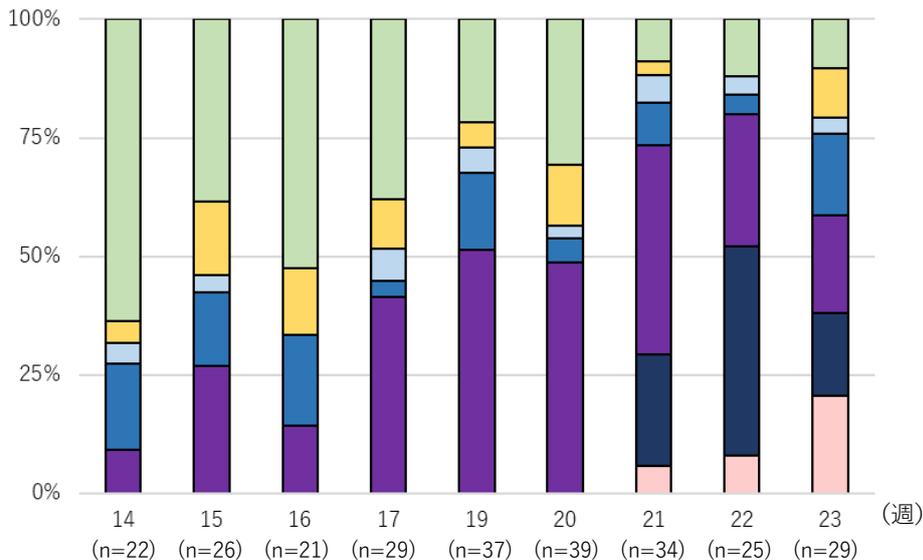
- ・インフルエンザ(10)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統

□XBB.2.3系統 ■XBB.1.16系統 ■XBB.1.9系統 ■XBB.1.5系統

□その他のX系統 ■BA.2系統 ■BA.5系統



その他のX系統も含むXBB系統は第21週、22週で共に88%、第23週で79%を占めています。また、第23週ではXBB.2.3系統、XBB.1.16系統、XBB.1.9系統、XBB.1.5系統が多くを占めています。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられます。

XBBはBJ.1 (BA.2.10.1系統) / BM.1.1.1 (BA.2.75.3系統) の組換え株です。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施しています。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなります。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施しています。

✚ 全国 2023 年第 22 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	251 例			
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	77 例	
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	1 例	エムボックス 6 例
	オウム病	1 例	重症熱性血小板減少症候群	10 例	つつが虫病 2 例
	日本紅斑熱	10 例	レジオネラ症	52 例	
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 24 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病 3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例	後天性免疫不全症候群	15 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 14 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	21 例	水痘(入院例)	7 例	梅毒 234 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	百日咳	20 例	麻しん	3 例	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 110%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、手足口病、伝染性紅斑及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 22,432 人(4.6)で前週比 125%と増加した。沖縄県(15.8)、石川県(7.0)、北海道(6.7)、千葉県(6.7)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 7,483 人(1.5)で前週比 94%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.14)の約 11.2 倍であった。宮崎県(5.3)、愛媛県(3.6)、鹿児島県(3.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 5,863 人(1.9)で前週比 141%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.16)の約 11.9 倍であった。宮崎県(8.8)、富山県(4.7)、佐賀県(4.7)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2023年5月>

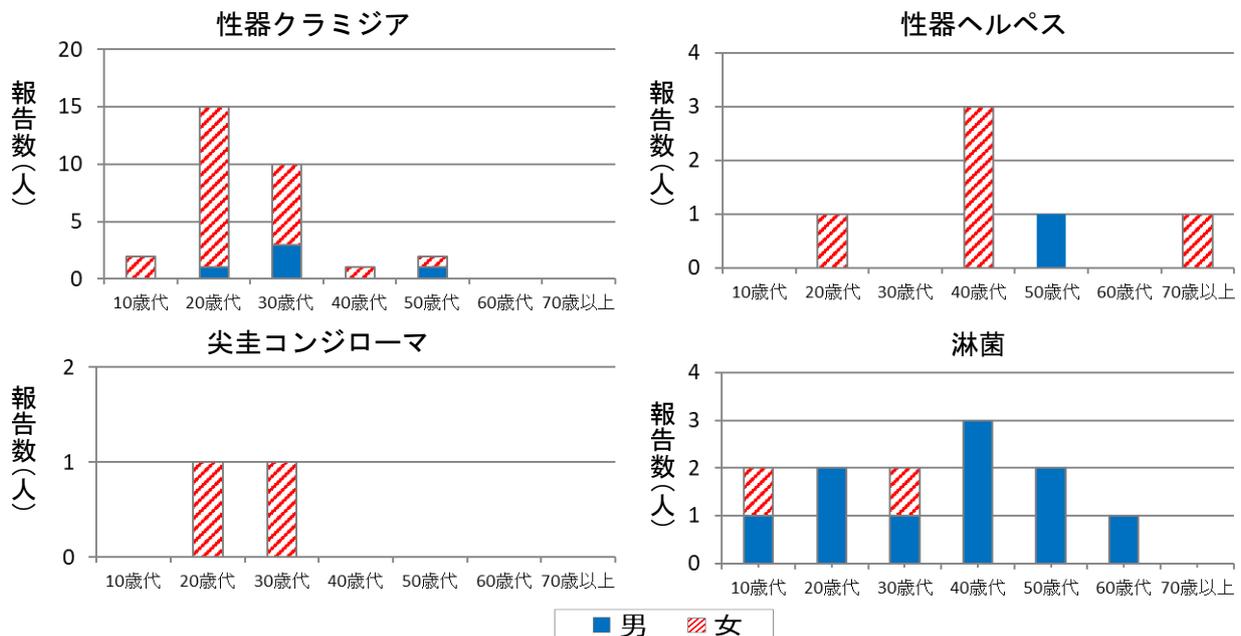
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は50人(3.9)で、前月比122%と増加した。また、昨年5月(3.1)の約1.3倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数30人(2.3)で、前月の約1.4倍、昨年5月の約1.8倍であった。
20歳代が全体の半数を占めた。(男性5人・女性25人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人(0.46)で、前月の約0.5倍、昨年5月の約0.9倍であった。(男性1人・女性5人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月及び昨年5月と同率であった。(女性2人)
- 淋菌感染症：報告数12人(0.92)で、前月の約1.7倍、昨年5月の約0.9倍であった。(男性10人・女性2人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,947人(5.0)で、前月比107%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,708人(2.8)で前月比107%、性器ヘルペスウイルス感染症798人(0.81)で前月比104%、尖圭コンジローマ610人(0.62)で前月比107%、淋菌感染症831人(0.85)で前月比108%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は20人(2.9)で、前月比125%と増加した。また、昨年5月(2.0)の約1.4倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月の約1.3倍、昨年5月の約1.4倍であった。70歳以上が全体の8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,334人(2.8)で、前月比123%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,210人(2.5)で前月比119%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症116人(0.24)で前月比200%、薬剤耐性緑膿菌感染症8人(0.02)で前月比200%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 23週(06月05日～06月11日)

疾病名		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	309	379	97	185	2	53	37	3	1		1
	定点当り	5.33	6.53	6.06	18.50	0.29	10.60	9.25	0.50	0.50	0.00	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	175	240	49	47	25	5	11	28	9	58	8
	定点当り	3.02	4.14	3.06	4.70	3.57	1.00	2.75	4.67	4.50	9.67	4.00
RSウイルス感染症	報告数	130	173	73	15	13	3	10	23		24	12
	定点当り	3.61	4.81	7.30	2.50	3.25	1.00	3.33	5.75	0.00	6.00	12.00
咽頭結膜熱	報告数	15	10	5		3	1		1			
	定点当り	0.42	0.28	0.50	0.00	0.75	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	24	38	20	7	3	5		1		2	
	定点当り	0.67	1.06	2.00	1.17	0.75	1.67	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	274	246	58	35	9	18	57	27	11	27	4
	定点当り	7.61	6.83	5.80	5.83	2.25	6.00	19.00	6.75	11.00	6.75	4.00
水痘	報告数	2	4			1			1			2
	定点当り	0.06	0.11	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	2.00
手足口病	報告数	79	93	14	29		17	3			30	
	定点当り	2.19	2.58	1.40	4.83	0.00	5.67	1.00	0.00	0.00	7.50	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	24	25	8	2	4	3	2	4		1	1
	定点当り	0.67	0.69	0.80	0.33	1.00	1.00	0.67	1.00	0.00	0.25	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	316	384	122	78	31	34	58	19		22	20
	定点当り	8.78	10.67	12.20	13.00	7.75	11.33	19.33	4.75	0.00	5.50	20.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	3	1	1	1						
	定点当り	0.06	0.08	0.10	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	3	1	2							
	定点当り	0.67	0.50	0.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～23週)

2類感染症	結核	54例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例(1)	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	6例	つつが虫病	10例
	レジオネラ症	1例	日本紅斑熱	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	4例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	水痘(入院例)	2例
	播種性クリプトコックス症	3例	百日咳	4例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例(1)
			梅毒	84例(1)

()内は今週届出分、再掲